

平成 30 年 1 月 25 日

各 位

会社名 株式会社ボルテージ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 津谷 祐司
 (コード番号：3639 東証第一部)
 問合せ先 経理/財務統括マネージャー 古市 守
 (TEL. 03-5475-8193)

平成 30 年 6 月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 8 月 14 日に公表した平成 30 年 6 月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 6 月期 連結業績予想数値の修正(平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	300	300	190	36.55
今回修正予想(B)	8,000	△900	△900	△750	—
増減額(B-A)	△2,000	△1,200	△1,200	△940	
増減率(%)	△20.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 6 月期)	8,820	141	158	24	4.75

(注) 上記の 1 株当たり当期純利益は、平成 29 年 12 月 31 日現在における発行済株式総数 (5,198,074 株) を基に算出しております。

2. 修正の理由

当社は、3 年戦略(平成 29 年 6 月期から平成 31 年 6 月期)に基づいて事業を運営しております。平成 30 年 6 月期は、積極的な広告出稿を行うことで売上高及び利益を伸長させる計画でしたが、テレビCMをはじめ一部集客の不調により集客効率が悪く、第 2 四半期末時点で売上高及び利益が計画を大幅に下回りました。

事業区分別の売上高は、英語女性向けは計画を上回り、その他である「男性向けサスペンス」が計画を大幅に上回りました。一方、主力である日本語女性向けはユーザー動向等市場の環境変化への対応にも想定より時間がかかり、カジュアル層及びカジュアルコア層向けの各タイトルが想定を大幅に下回りました。コア層向け第 1 弾となる「アニドルカラーズ」は、ゲーム内容は一定の評価を得たものの、アプリの使い勝手や課金マネタイズ構造が不十分であり、計画を下回りました。

費用は、売上の減少に伴う販売手数料の減少等により計画を大幅に下回りましたが、売上の減少による影響を補うにはならず、利益は計画を下回りました。

第 3 四半期以降については、3 年戦略を一部修正し、広告出稿の精度向上、既存タイトルの拡大、カジュアルコア層向け新規タイトルの投入等を行うことで業績は上向くと想定しておりますが、第 2 四半期末までの不振を取り戻すことは難しい見通しです。

以上により、平成 30 年 6 月期は、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、前回予想を下回る見込みです。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。